

## 日墨グローバルパートナーシップ研修計画

研修レポート 2016年11月

井山明日香

### 死者の日

これは11月1,2日に催される日本のお盆のような行事です。各家庭や町中で死者を祀るための祭壇を作り、そこに遺影や死者が好きだった食べ物をお供えします。1日には亡くなった子供たちが、2日には大人が帰ってくると言われており非常に盛大な行事です。あるメキシコ人の友人が「人は亡くなってしまってもわたしたちの心のなかに生きていて、年に一度盛大に迎えることでその人はまだ生き続けることができる。」と言っていました。非常に盛大で明るいお祭りでありながらも心は亡くなった人に寄り添っていて彼らとの思い出を振り返っている時間がとても愛おしく感じられました。また、死者の日が近づくと町の市場にはカラフルなガイコツが売られます。人びとはガイコツのような仮装をしてその日を楽しみます。わたしは死に対して、怖かったりどこか暗いイメージを持っていました。しかしメキシコの死者の日を経験してみると少し死に対する考え方が変わったように思います。「死んだらみんな同じガイコツになる、死んでもみんながこうして迎えてくれる」メキシコの死生観を垣間見ることができた日となりました。





### CEPE のテスト

わたしが現在通っている語学学校 CEPE は 6 週間を 1 つの学期として構成していて、最後にはテストが実施されます。そのテストは二日間に分けて行われ、一日はクラスの学生 2 人でペアになって行なう口頭テスト、別の一日はコンピュータを使って行われるリスニングと長文、筆記のテストです。

また、スペイン語の授業以外でも学期末のテストは行われ、わたしがとっていた伝統舞踊のクラスでは学期末に発表会を開催しました。

